

立つ鳥跡を濁さず～1年間の感謝を～

令和6年度も残り約1ヶ月となりました。児童生徒は、卒業・進級へ向けラストスパートをかけ日々頑張っています。

「立つ鳥跡を濁さず」ということわざがあります。水鳥が飛び立った後の水辺は濁ることなく綺麗です。これが転じて、立ち去る者は見苦しくないようにきれいに後始末をしていくべきで、引き際は美しくあるべきだという意味です。ビジネスシーンでよく使われる言葉ですが、学校でも年度末を迎えるとよく聞きます。



では、学校教育の面でこのことわざは、どのようなところにあてはまるのでしょうか？
真っ先に思いつくのはそうじの面です。1年間お世話になった教室や机・ロッカー等をきれいにして、来年度使う下級生に気持ちよく使ってもらう。文面通り、使っていた場所はきれいにして立ち去りましょう、ということです。

しかし、「濁さず」は見た目の美しさも大切ですが、学校ではやはり心を「濁さず」が大切だと思います。人と人とのつながりを大事にする学校教育での「立つ鳥跡を濁さず」は、お互いの心を気持ちよく（きれいに）して次へと向かいましょう。1年の節目を迎える時期に、一度区切りをつけ「1年間の感謝の気持ちを伝えましょう」という意味だと考えます。

お世話になった地域の方々、上級生、友だち、先生、そしてお家の方々。児童生徒には、関わってくださったすべての方々に感謝の気持ちを持って欲しいと願っています。今ある自分は、関わってくださった方々のおかげです。思いやりの心を大切に、豊かな人間性を育てていくことは、学校教育においてもっとも重要なことのひとつです。

お世話になった方々に感謝の気持ちを伝える。それが「立つ鳥跡を濁さず」なのだと思います。中学1年生から3年生が協力して取り組んだり、行事の時に小学校1年生から6年生が仲良く取り組んでいた姿を見ると、素敵な児童・生徒になってきたなと感ずることができます。

まずはあと1ヶ月、この医王山小中学校らしさを大切に生活を送り、感謝の気持ちを持ち「跡を濁さず」卒業・進級を迎えてほしいと願っています。

離任式 13:45～ 3月24日(月) 小学6年生・中学3年生は離任式のみ参加になります。
入学式 10:30～ 4月7日(月) 8時15分までに登校(新小2・3・4・5・6年、新中2・3年)

小-6年生を送る会 2/21(金) 送る会では、在校生が、劇、合奏・歌などで6年生を楽しませてくれました。どれも心温まる内容で優しかった6年生に対する感謝の気持ちが込められていました。とても感動する会となりました。



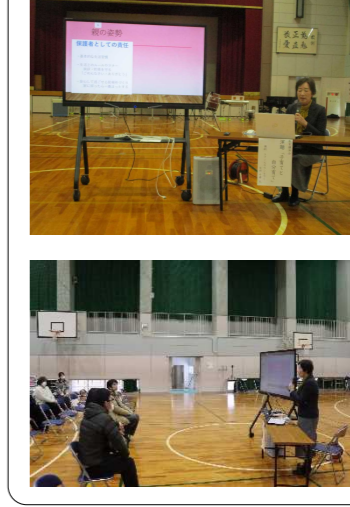
小-なわとび集会 1/31(金)

休み時間や体育の時間の練習のまとめとしてなわとび集会を行いました。練習の成果を活かし赤白に分かれていろいろな跳び方を競いました。最後の8の字とび対決はとても盛り上がりました。縄跳びは体力アップだけでなく、免疫機能や記憶力アップにも効果的です。この時期にぴったりの運動ですね。



小-教育講演会 2/21(金)

スクールカウンセラーの吉田千尋先生より「子育てと自分育て」という演題で講演をしていただきました。大変良いお話で、子育ては、大人である我々の、接し方や言葉かけを含めたコミュニケーションの仕方が非常に重要であることを改めて学びました。講演会資料をクラスルームにアップしますので、是非ご覧下さい。



中-立志式 2/10(月)

大雪での休校で延期となりましたが、医王山公民館寺山館長をお招きして、立志式を行いました。節目の日を迎え、中学2年生のみなさんが、立志を機に立てた自分の目標を、自分の言葉で堂々と発表できていたのが、とても素敵でした。



今シーズン最強・最長寒波 2/4(火)～23(土)

今シーズン最強・最長寒波が、4日～9日、19日～23日にかけてやってきました。本校もやはり影響を受け、5日・6日と臨時休業となりました。しかし、雪国で育つ医王っ子はたくましく、この雪を存分に楽しんでいました。さすがです。厳しい冬を乗り越えることで、さらに春到来の喜びが増すことでしょう。

